

都市計画道路 3・4・19号二ツ屋山崎線および 3・5・51号牛島茨島線ほか 2路線の変更案に対する意見と対応

案の縦覧期間 令和5年12月11日(月)から同月25日(月)まで
 提出者 2人
 件数 2件

提出者	項目	意見書の要旨	市の考え・対応
1	1	<p>3・5・51号牛島茨島線の廃止区間はかなり狭く、車のすれ違いが大変なうえ、通学の小中学生が危険な状態になっています。</p> <p>この部分の代替えとなる路線は思い当たらないことから、計画を変更せず、子供たちが安全に通学できるように整備する必要があります。</p>	<p>今回の都市計画変更は、長期未着手の都市計画道路の見直し検討の結果に基づき実施するものです。</p> <p>長期未着手の都市計画道路については、少子高齢化や人口減少などの社会経済情勢の変化や市街化の進展に伴い、当初の決定どおりの整備が困難になっている路線が多く、そこでは、地権者等に対し、長期にわたって土地利用制限が課せられるなどの問題が生じているため、令和4年度に見直し検討を行い、廃止・変更路線を選定しています。</p>
2	2	<p>3・5・51号牛島茨島線は、秋田市西部と南部から秋田市中心部に至る重要な道路の一部だと思うので変更には反対だ。</p> <p>南部西部から中心部方面へは現状限られたルートしかなく、現在正に災害で土手長町((主)秋田岩見船岡線)に通行止めが発生して渋滞が起きているが、このようなことが起きて交通が確保できるリダンダンシーが必要だと思う。</p> <p>人口が減少する中で予算も限られると思うが、それでも秋田市が都市である限り、重要な意味を持つと思う。</p> <p>確かに引き込み線跡に道路が出来て交通は一部円滑化した、これは最近開通した牛島駅前の秋田環状線と繋がっていない。細い道でわずかに繋がっているが、この区間の前後の道路状況が改善したので、ここも交通量が増加しているように感じる。実際自転車でこの細い部分を通行して、結構なスピードで通過する自動車にひやりとした経験が何度かある。沿線住民にとっても、玄関先がこのような状況では危険であろう。前後の区間の道路整備によって、この細い部分で交通事故が起きないか心配だ。少なくとも、秋田環状線から御鷹野橋までの区間は、廃止すべきではないと思う。この場所は羽越線がほぼ並行しており、そもそも線路で南北に分かれているので、道路の整備をしても新たな地域の分断には繋がらないであろう。</p> <p>個人的な感想では、計画継続とされた他の道路よりも、必要性があると思う。</p> <p>地域住民と通行する歩行者、自転車のためにも変更の見直しを検討してもらえれば幸いである。</p>	<p>見直し検討の結果、3・5・51号牛島茨島線については、整備により沿道の家屋の移転等が多く地域コミュニティへの影響が懸念されるほか、鉄塔の移設なども生じるため実現性が低くなっています。また、整備済みの周辺の都市計画道路(3・4・29号中通牛島線、3・4・21号秋田環状線)が当該地域の幹線道路の役割を担っており、将来的な都市計画道路ネットワークとしての必要性が低いため、廃止と位置付けたものです。</p> <p>このことから、牛島茨島線については、社会経済情勢や事業の困難性、都市計画道路ネットワークとしての必要性、地権者等への土地利用制限等を踏まえ、都市計画変更(廃止)を行うものです。</p> <p>なお、都市計画道路の廃止後は、都市計画道路としての整備は行わないものの、現道の安全対策等に課題がある箇所については、他の市道と同様に、道路管理者において地域の状況や要望等を踏まえ、実現可能な対策等を検討することになります。</p>